



整備後は、町の公民館で開催されていた茶道講座もこの施設で行われるようになっており、イベントの開催時には地域の婦人会も積極的に参加している。また、観光施設としても活用されており、入苑者への呈茶も行っている。

名護屋城は、豊臣秀吉が朝鮮半島への出兵の際に築いた城で、一年四か月に及ぶ秀吉の在陣中は、全国から秀吉のもとに集まった人々により茶の湯や能などが行われ、当地では桃山文化が開いた。「茶苑 海月」は、こうした歴史背景のもとに名護屋城跡の一角に整備されたものである。施設は、日本庭園を囲むように数寄屋造りの茶室棟と茶屋棟が設けられており、落ちついた雰囲気の中で茶の湯に親しむことができるようになっている。

DATA・BOARD 57

- ①佐賀県東松浦郡鎮西町大字名護屋
- ②面積：茶室棟40㎡、茶屋棟230㎡、庭園2,200㎡
- ③茶室棟、茶屋棟、庭園
- ④木材、植栽ほか
- ⑤茶道講座ほか



57

ちゃえん
かいげつ
茶苑「海月」